

血中イソフラボンと大腸癌リスクについて

韓国の症例対照研究において、**血漿中イソフラボン**（**ゲニステイン**および**ダイゼイン**）を定量化して**大腸癌リスク**の関連を評価し、ベトナムの症例対照研究で再現試験を実施しました。



その結果、韓国人およびベトナム人集団において、ゲニステインでは濃度のレベルアップに応じた**大腸癌リスク**の継続的な低下が認められ（それぞれ傾向 $p = 0.032$ および 0.001 ）、最高濃度の**ゲニステイン**および**ダイゼイン**におけるリスクは有意に低い結果となりました。

民族差を問わず、高濃度の**血漿中イソフラボン**は**大腸癌リスク**の低下と関連しました。

